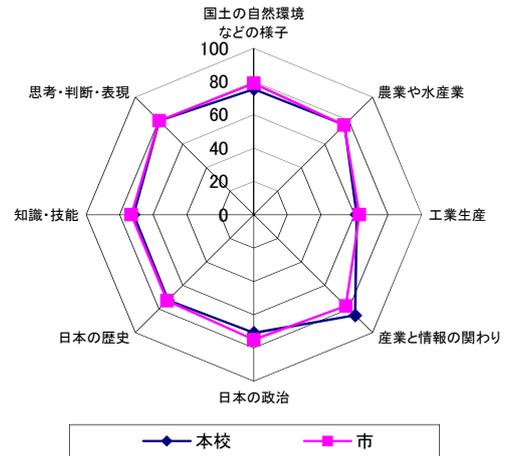


宇都宮市立東小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	75.5	78.9	75.4
	農業や水産業	76.3	76.1	71.2
	工業生産	61.3	62.9	59.4
	産業と情報の関わり	85.5	77.6	59.7
	日本の政治	71.0	75.0	79.3
	日本の歴史	72.6	73.1	72.8
観点別	知識・技能	71.7	73.0	71.4
	思考・判断・表現	79.8	79.8	71.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	<p>平均正答率は、市の平均を3.4ポイント下回った。</p> <p>○環境問題や自然災害については、正答率も高く理解している児童が多いと考えられる。社会科だけではなく他教科での学習にも関連し、繰り返し学習したことの成果であると考えられる。</p> <p>●外国の国旗や国内の地形についての誤答が多く見られ、地図の読み取りが課題であると考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後も資料を読み取ったり、資料の内容を正しく把握したりする力を継続して付けていく。 社会科の教科書の資料や他教科の資料を比較して考えたり、内容を正確にとらえる指導を継続して行う。 時事のニュースと学習内容を結びつけながら、日本の国土や世界の出来事についての関心を高めていく。
農業や水産業	<p>平均正答率は、市の平均よりも若干上回った。</p> <p>○馴染みの深い米についての理解は市の平均を6ポイント上回っている。食に関しては興味や関心が高く想像しやすいのが要因ではないかと考えられる。</p> <p>●都道府県の名前と位置が一致していない児童が多くいることが考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料同士の関係や変化を読み取り、考察する力を継続して育てていくと共に、資料の特徴を理解したりそこから判断したりする力を育てていく。 社会科や他教科の教科書に掲載されているグラフや文章資料を読み取り、内容を判断していく指導を継続する。
工業生産	<p>平均正答率は、市の平均を1.6ポイント下回った。</p> <p>○「自動車工場の作業工程の理解」については市の平均より6.5ポイント高かった。資料だけでなく動画を見ながら説明できたことが要因ではないかと考えられる。</p> <p>●「大工場と中小工場の理解をもとに資料を読み取る」問題では正答率が50%を下回った。日本の工業の実態や特色を理解していない児童が多いと考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国内の工業地域や工業地帯の特色について、地域や地形等の特色と関連させながら判断できる力を継続して育てていく。
産業と情報の関わり	<p>平均正答率は、市の平均よりも7.9ポイント上回った。</p> <p>○「インターネットの利用の注意点」については正答率が93.5%と高く、市の平均を4.6ポイント上回った。インターネットの使い方は共有できていると考えられる。</p> <p>●上記の問題は正答率は高かったものの全員がインターネットの危険を理解しているわけではないため、もう一度確認する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 情報の利用について、社会だけに限らず各教科、領域の中で継続して考え、判断する力を育てていく。 進化し続けていく情報社会に必要なことや注意しなければならないことを明確に伝え、情報モラルの育成をしていく。
日本の政治	<p>平均正答率は、市の平均を4.0ポイント下回った。</p> <p>○「裁判の仕組み」についての問題では市の平均を若干上回った。デジタル教科書や動画を利用した授業の成果が考えられる。</p> <p>●「日本国憲法の三大原則」についての問題では市の平均を14.6ポイント下回った。政治に対する関心の薄さや堅苦しいというイメージをもっている児童が多く見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 時事のニュースと学習内容を結びつけながら、政治についての児童の興味・関心を高めていく。 どのような歴史があって今の政治の仕組みになっているのかがつながるようにデジタル教科書や資料を用いて把握させる。 将来の生活を想像させ政治や社会の仕組みを知らないことは困ることだという認識をもたせるような授業を展開する。
日本の歴史	<p>平均正答率は、市の平均を若干下回った。</p> <p>○「鎌倉時代・室町時代」については、すべての問題で正答率が市の平均以上となった。</p> <p>●年表や資料から武士政治の決まりを読み取る問題での正答率が45.2%と低かった。関係している人物がどのような政治を行ったのか考えることに課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 時代ごとの文化の特色や出来事の時期を判断する指導を強化する。 それぞれの時代に、どんな理由でどんな出来事があったのか、時代ごとに事件を関連づけて指導していく。 日本史を学ぶ上で欠かせない基本的な人物の業績をしっかりと把握させる。